

中央地区社協だより



# ほっとスマイル

第57号 2010.4(地域特集)

中央地区社会福祉協議会

(市総合福祉センター内)

でんわ 77-7889

ファックス 77-7891

発行責任者 鳥居 玄根



福祉講演会を開催します！

## 「聞こえますか、心の叫びが」

最近、テレビのニュースで、実の親がわが子に虐待を繰り返し、死に至らしめる事件が相次いで報道されています。

なぜこのような痛ましい事件が起こってしまうのでしょうか？事件の背景には親自身の問題だけでなく、親が育ってきた家庭、地域の問題が在るのではないのでしょうか？豊かになってきたはずの現代は、逆に心のゆとりや、人との結びつきが弱ってしまい、子育てを巡る環境も以前とはかなり違ったものになってきています。今回は弁護士として児童虐待の問題に長年取り組んでいる講師から、事例を通してその原因や、防止に向けての取組みを学びます。

とき 平成22年5月15日(土)

午前10時30分～12時

ところ 昭林公民館 ホール

演題 「聞こえますか、心の叫びが」

講師 岩城 正光氏

(NPO法人 日本子どもの虐待防止民間ネットワーク理事長・弁護士)



入場は無料で、どなたでも参加できます。みなさんぜひお越しください。

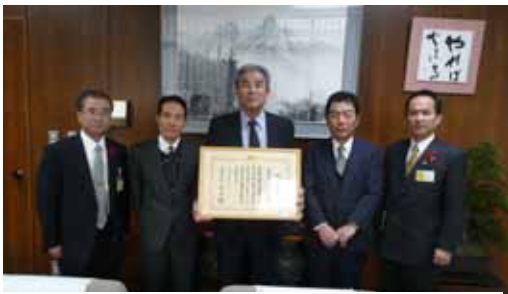
# 昨年度の町内の動きを紹介します！

昨年度は、中央地区の町内で、福祉や防災などに関するさまざまな動きがありました。今回はこの中でも新たな取組み、注目すべき取組みを紹介いたします。

## 城南町の取組みが表彰されました

昨年度は、城南町の皆さんが長年続けてきた地道な取組みが認められ、二つの大きな表彰を受けました。おめでとうございます！

その 文部科学大臣より「学校安全ボランティア活動奨励賞」を受賞



神谷市長と本田教育長に受賞の報告を！ 愛知県では3団体が受賞

城南町では、平成16年度から小学校下校時の子どもたちの安全を守るため、パトロール活動を毎日続けています。この地道な活動が認められ、昨年11月10日に広島県で開催された全国学校保健研究大会で、表彰されました。

この取組みは、平成16年の頃、小学生の下校時にとても危険な不



活動の原動力は子どもたちの笑顔？

審者が出没したことをきっかけに、町内の有志で自発的にパトロールを始めたことから「城南町スクールパトロール隊」に発展し、今では町内の高齢者が多数参加して、小学生との自然な交流も生まれています。今回の受賞は参加されているみなさんの大きな励みとなりました。

その 愛知県知事より「防災貢献団体」として感謝状を授与

昨年11月8日に愛知県のモリコロパークで開催された「あいち防災フェスタ」の席上、平成21年度の「愛知県防災貢献団体」として、城南町自主防災会に愛知県知事より、感謝状が授与されました。当日は企業も含む7団体が表彰されました。安城市内では、19年度の榎前町、20年度の横山町に次ぐ3番目の受賞です。

城南町では、平成18年度の発災型防災訓練以降、より実践的な訓練を積み重ねてきたことや、支え合いマップ作りを通して、要援護者への日ごろの支援活動に力を注いでいること、中学生防災教室への協力などが高く評価されました。



感謝状を受け取る藤野町内会長

城南町の要援護者支援の取組みは、11月1日号の広報あんじょうの「認知症特集」の中でも紹介され、この特集記事を載せた号は愛知県の広報コンクールで入選となりました。

## 横山町で「南ふれあいの家」がオープン

市内でも世帯数が多く、今も人口が増え続けている横山町。若い世代も多く、活力ある町内ですが、町内の規模が大きすぎてきめ細やかな活動が難しいことが悩みの種でした。



南ふれあいの家の開所式

そこで、町内4ブロックに福祉活動の拠点を設けていこうと、まずコミュニティーセンターから一番遠い南地区に、民家の離れを改修して、福祉活動の拠点が設けられました。

名称は町内で募集して「南ふれあいの家」に決まり、昨年11月21日に開所式が行われました。

車に乗れない高齢者も歩いて行ける距離で集まることができ

ようと、ここでの活動が始

まりつつあります。

12月には、福祉委員会のメンバーである、昨年8月に発足した町内のボランティアグループ「みまもり会」のメンバーによる「ふれあいの会」が開催され、近所のお年寄りが集まって、楽しいひと時を過ごしました。今後は毎週木曜日の午後にサロンを開催し、近隣住民のふれあいの場づくりに取り組んでいく予定だそうです。



みまもり会メンバーとご近所の高齢者で楽しいひと時を！

横山町内会が「平成21年度アルミ缶回収協力者」として表彰されました

昨年度アルミ缶回収に取り組んだ団体などの中から、優れた取り組みをした全国で74の個人・団体が、アルミ缶リサイクル協会から表彰されました。横山町内会もその中に選ばれ、3月28日の町内会総会の席上、贈呈式が行われました。おめでとうございます！

## 花ノ木のマンションで「かがやき」の会が発足

とかく人間関係が希薄だと言われる高層マンションですが、高齢化は決して他人事ではありません。そんなマンションの高齢者が立ち上がり、マンションの集会室を使って毎月1回、話し合いの場を持つようになりました。

花ノ木町の中でひととき高くそびえ立つ「グローリアスハイツ安城」。平成元年に入居が始まったこのマンションで、人と人とのつながりを持ちたいと、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯の有志が集まって、月1回の集まりを持っています。今までに介護保険や福祉サービスなどについての勉強会をしたり、新しくできた福祉センターの見学をしたり、緊急時の連絡方法などについても話し合ってきました。常時8人のメンバーが集まり、最近では映画会を開いたり、デンパークに出かけたりと楽しい行事も増えて、お互いの親睦を深める中で、困りごともし合えるようになってきたそうです。



「かがやき」の会のみなさん  
いつでも新会員募集中だそうです！

## 南町でまごころ福祉サポート隊が発足

以前から要援護者の見守り活動には積極的に取り組んできた南町福祉委員会ですが、この取組みをさらに充実させるため、昨年度「南町まごころ福祉サポート隊」が発足しました。日常的な安否確認、見守り活動を通じて要援護者の抱えている問題を引き出し、解決を支援していきます。そして町内だけで解決できない問題については、地区社協と連携して取り組んでいきます。

町内をいくつかのブロックに分けて、その中で隊員を決めて、1人が4～5人の要援護者を担当しています。隊員一人ひとりがご近所の住民として、ゴミだし支援など日常的な支援も行っています。気になる要援護者が見つかった場合は、関係機関との話し合いも行って、地域だからこそできることに取り組んでいます。

このような取組みを進めることにより、認知症高齢者など新たな要援護者の掘り起こしも進んできました。



まごころ福祉サポート隊のメンバーがご近所を訪問

### 「助けられ上手さんになろう！」講演会とパネルディスカッション開催



「助けられ上手さんになろう！」  
パネルディスカッションを開催しました

町内での助け合いを進めるためには、お互いが助けられ上手になることが大切です。南町福祉委員会では「助けられ上手」を啓発するために、7月26日に講演会とパネルディスカッションを開催しました。当日は住民流福祉総合研究所の木原孝久先生を講師に迎えて、講演とパネルディスカッションの進行をお願いしました。町内のひとり暮らし高齢者、車いすの障害者、子育て中の母親、そして花ノ木の中田和子さんを迎えて、それぞれの思いを語っていただきました。会場の参加者からは「初めて『助け

られ上手』という言葉を知りました。これからは助けられ上手さんになろうと思います。」という意見も聞かれ、充実したつどいとすることができました。

### 社会福祉協議会からのお知らせ

今年度から相談事業の時間や曜日に変更がありますので、よろしくお願いいたします！

毎週火曜日の心配ごと相談は、午後1時から4時までに変更になりました。

毎月第2・第4金曜日の午後行っていました「子どもの生活相談」は

第2・第4土曜日の午後に変更になりました。(予約制です) TEL.77 - 7889

福祉法律相談(毎月第3水曜日午後1時から 予約制)、

毎月第1・第3土曜日の午後1時からの心配ごと相談は変更ありません。

今回は地域の皆さんによる素晴らしい取組みのうち、紙面の都合上、ほんの一部しかご紹介できなくて申し訳ありませんでした。今年度も引き続き中央地区社協の事務局を担当することになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします！ 担当 吉村

